

# 南部地区まちづくり計画

子供からお年寄りまで笑顔で暮らせるまち



平成30年5月策定

# 1. はじめに

これまで南部地区コミュニティは文化祭、納涼祭、運動会をはじめ、多くの地域交流事業を行い、地域住民の親睦と融和に寄与してきました。親睦に重点を置いた活動を主とした南部地区コミュニティは平成28年5月、地域の問題や課題解決に取り組む自治組織をめざすべく、南部地区まちづくり協議会へと発展的解消を遂げました。

南部地区まちづくり協議会では地域の発展や課題解決のために、「地域の強みの発見」「地域の課題の洗い出し」「課題解決に向けて行うこと」「課題解決案等の実施計画の策定」を行いました。本計画は、南部地区まちづくり協議会総務部会において素案を形成し、地域住民の合意のもと作り上げたもので、今後10年間の南部地区のまちづくりの骨子となるものです。

## 2. 南部地区の現状と課題

南部地区まちづくり協議会は、4つの自治会(楠平尾町、安知本町、安知本町上原、田茂町)から構成されています。地域のほぼ中央に南部地区コミュニティセンターが設置され、また各自治会地域に公民館等の自治会拠点があります。

亀山市南部に位置し、地区内を県道鈴鹿芸濃線、主要地方道亀山白山線、市道野村楠平尾線が通り、また津市とも隣接しています。中の川や田茂池、どんど池といった豊かな水資源が田畑を潤し、緑豊かな自然環境を有する山間の地域です。地元ボランティアによる里山整備がなされ、近年ササユリを見に地区外から訪れていただく方も増えてきました。

また南部地区ではPTAとボランティアによる南小学校児童下校パトロールとは別に、平成21年度より三重県警察本部より委嘱を受けて「南部地区児童防犯パトロール隊」を結成し、青色回転灯を装着した自家用車による自主防犯パトロールを積極的に行ってきました。これにより地域の防犯意識の高揚に一役を担っています。

亀山市内や津市、鈴鹿市へのアクセスは良好な立地ではありますが、その一方で公共交通が弱く、自家用車で移動ができない高齢者らにとっては買い物や医療機関の受診等の生活面で不便を強いられています。市バスの運行がなくなり、唯一の公共交通である民間営業バスの停留所は最も遠い家から2キロ以上離れており、しかも午前中は2時間に1本の運行といった状況で、非常に不便で厳しい状況にあります。昨今高齢者の免許証返納を推し進める状況下にはありますが、返納すればたちまち生活に支障が出るのが明らかのため、返納したくとも返納できないという現実があります。我が地区にとって公共交通機関の問題は大きな課題と言えます。

またこの地区に限ったことではありませんが、少子化に加え、若い世代が地元を離れ、別に家を構えることも高齢者にとって厳しい状況を生み出している原因の一つであることは間違いありません。地域の高齢化が進み、南部地域の高齢者割合は亀山市全体のそれを大きく上回っています。人口は減少傾向の一途をたどっています。またそれに伴い、独居老人や空き家も増えてきています。そうした状況の中で、いかに地域の防犯、防災体制を整えていくかも課題となっています。

この地区の人口は268世帯681人と、他地区と比較して多くはないですが、その分地域住民同士が顔見知りであり、町場に比べると比較的強い人間関係が築かれていると言えます。しかしながら「地域の一員としての意識」が若い世代に限らず、だんだん希薄になりつつあることは否定できません。とはいえ、地域の活性化のためには若い世代の力が必要不可欠です。若い世代に積極的に参加してもらうのが大きな課題となります。

さらに、南部地区はこれまでもたくさんの行事を行ってきましたが、マンネリ化してきている、との声もあります。若い世代からの前向きな意見を取り入れて、地域を盛り上げていきたいと考えています。役員の担い手の問題も含め、より魅力ある地域にするためにてだてを考える必要があります。

	世帯数		人口		65歳以上の人口		高齢者割合	
亀山市	21,240	(+1,011)	49,795	(-177)	12,912	(+1,879)	25.9%	(+3.8%)
南部地区	268	(-7)	681	(-99)	235	(+17)	34.5%	(+6.6%)

※( )内は過去6年間の増減

※資料は平成29年10月1日現在

### 3. 南部地区まちづくり計画の基本理念

南部地区まちづくり計画では次の6つの項目を活動の中心ととらえています。

1. みんなで助け合えるまち～ずっとこのまちで暮らしたい～	(福祉部)
2. 「素敵！」をみつけて心ハッピーに！	(文化部)
3. 災害に負けないまちづくり～被害を最小限に抑える	(防災部)
4. みんなが笑顔で安心安全に過ごせるまちに！	(環境安全部)
5. 健康ではつらつとした生活を！	(体育育成部)
6. 住みよいまち！笑顔があふれるまち！	(総務部)

これらの6つの項目を達成するため、南部地区まちづくり計画は

## 『こどもからお年寄りまで笑顔で過ごせるまち』

を計画の基本理念とします。

## 4. 基本理念達成のための活動の施策

期間について

短期目標・・・1～3年

中期目標・・・5年

長期目標・・・10年 ととらえています。

主体について

まち協・・・個人、家族、自治会を含んで考えています。

協働・・・まち協単独はなく、行政や関係団体と連携して行うことを考えています。

### 【福祉部】

目標

みんなで助け合えるまち～ずっとこのまちで暮らしたい～

取り組み項目	取り組み内容	期間			主体		
		短期	中期	長期	まち協	行政	協働
高齢者対策	サロンの充実						
	PR方法(回覧)を見直す	○			○		
	ミニサロン(時間短縮・食事なし)の実施	○			○		
	敬老会の充実						
	開催時間について再考する	○			○		
	声かけ・見守り活動の充実						
	近所の方に見守りボランティアを依頼	○			○		
	異変を感じたときの対処マニュアル作成	○			○		
	行事開催時の足の確保		○				○
	健康増進プログラムの計画・実行	○			○		

### 【文化部】

目標

「素敵！」をみつけて心ハッピーに！

取り組み項目	取り組み内容	期間			主体		
		短期	中期	長期	まち協	行政	協働
文化・農芸祭	出品を増やすための内容を企画	○			○		
	親子で参加できる行事の企画	○			○		
	子供の意見を取り入れる	○			○		
	若い世代が集える行事の企画	○			○		

## 【防災部】

目標 災害に負けないまちづくり ～被害を最小限に抑える～

取り組み項目	取り組み内容	期間			主体		
		短期	中期	長期	まち協	行政	協働
知識を身につける	防災教室の企画	○			○		
	救急法講習会	○			○		
備える	持ち出し袋の点検表の作成	○			○		
	危険箇所点検パトロールの実施	○			○		
	防災組織(炊き出し班等)を作る			○	○		
	防災倉庫の点検	○			○		

## 【環境安全部】

目標 みんなが笑顔で安心安全に過ごせるまちに！

取り組み項目	取り組み内容	期間			主体		
		短期	中期	長期	まち協	行政	協働
防犯	青パトの充実(人員確保等)	○			○		
	下校パトロールの充実(人員確保等)	○			○		
	防犯灯の整備・増設		○		○		
	挨拶運動で犯罪を抑制						
交通安全	交通安全教育		○		○		
	危険箇所点検	○			○		
獣害対策	学習会の実施、地区全体で協力		○		○		
	被害による減収、対策コストへの補償制度		○			○	
	出没情報・被害情報の収集と共有化	○			○		
環境美化	清掃活動の充実	○			○		

## 【体育育成部】

目標 健康ではつらつとした生活を！

取り組み項目	取り組み内容	期間			主体		
		短期	中期	長期	まち協	行政	協働
運動会・盆踊り	参加者を増やす						
	脱マンネリ～新しいプログラムを組む	○			○		
	抽選会の工夫(当選確率増、ランク付け等)	○			○		

## 【総務部】

目標 住みよいまち！笑顔があふれるまち！

取り組み項目		取り組み内容	期間			主体		
			短期	中期	長期	まち協	行政	協働
生活面	交通	交通手段の確保(コミュニティバス等)			○			○
		集落道の拡幅			○	○	○	
	買い物	買い物弱者を減らす						
		ネットスーパー等の利用の推進		○		○		
		移動販売車、店の誘致等			○	○		
伝統文化の継承	お神楽の継承		○		○			
魅力ある行事運営	どの世代にも喜ばれる行事の企画	○			○			
空き家対策	空き家バンクの作成		○				○	

目標達成度について見直しをするものとします。達成できた目標については取り組み内容をさらに充実させていきたいと考えています。未達成のものについては達成に向けてのてだてを再考するものとします。